

---

第 151 回 学長定例記者会見

日時：令和 4 年 11 月 18 日（金）11：00～11：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室

※ テレビ会議システムにより、記者会見の様様を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 未来創生センター 4-1

※ YouTube による録画配信を実施

**【発表事項】**

1. 広島大学統合報告書 2022 とファクトブックを公開しました
2. 2022 年度は多くの大型競争的資金を獲得しました
3. 「2022 年 ノーベル賞解説講演会」を開催します

**【お知らせ事項】**

1. 第 4 回全日本学生フランス語プレゼンテーション大会で、文学部 4 年生の南谷真哉さんが、2 位に入賞しました
2. 未来博士 3 分間コンペティション 2022 を開催します

■ 次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 4 年 12 月下旬

場所： 広島大学 霞キャンパス

令和 4 年 11 月 18 日

## 広島大学統合報告書 2022 とファクトブックを公開しました

本学の活動と運営を支えてくださるステークホルダーのみなさまに、本学の活動をわかりやすくご理解いただけるよう、このたび初めて「広島大学統合報告書 2022」を発行しました。

本学の目指す未来と現在地について共有し、双方向の対話へとつなげることで、みなさまと共に歩みを進めていくことを目的としています。

作成にあたっては、本学の特色や強み・ビジョン・取り組みなどの非財務情報と財務情報を有機的に組み合わせ、本学が社会に提供する価値の全体像をより身近に感じていただけるよう心掛けました。

本統合報告書が、本学を支えてくださるみなさまと本学をより深くつなげる存在となれば幸いです。

本学公式ウェブサイト上にデジタルブック版を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

【広島大学統合報告書 2022】

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/ir\\_fb/ir](https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/ir_fb/ir)



また、BI(ビジネスインテリジェンス) ツールを活用し、本学の基本情報や実績等をわかりやすく可視化した「広島大学ファクトブック」を新たに公開しました。

データを見て、比べて、触って、本学のことをより“フカボリ”してみてください。

【広島大学ファクトブック】

<https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>



【お問い合わせ先】

総合戦略室総合戦略グループ 和泉  
TEL:082-424-5928 FAX:082-424-6007



広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

広島大学基金

図書館・博物館等

東京オフィス

大学病院

附属学校

学外の方が利用できる施設

オンラインキャンパスツアー

キャンパスカメラ

学内ポータル もみじ (学生向け) いろは(教職員向け)



Twitter日本語版



Twitter英語版



Facebook日本語版



Facebook英語版



Instagram



YouTube



LinkedIn

公式アカウント一覧

## 広島大学統合報告書2022とファクトブックを公開しました

### 広島大学統合報告書2022



本学の活動と運営を支えてくださるステークホルダーのみなさまに、本学の活動をわかりやすくご理解いただけるよう、このたび初めて「広島大学統合報告書2022」を発行いたしました。

本学の目指す未来と現在地について共有し、双方向の対話へとつなげることで、みなさまと共に歩みを進めていくことを目的としています。

作成にあたっては、本学の特色や強み・ビジョン・取り組みなどの非財務情報と財務情報を有機的に組み合わせ、本学が社会に提供する価値の全体像をより身近に感じていただけるよう心掛けました。

本統合報告書が、本学を支えてくださるみなさまと本学をより深くつなげる存在となれば幸いです。

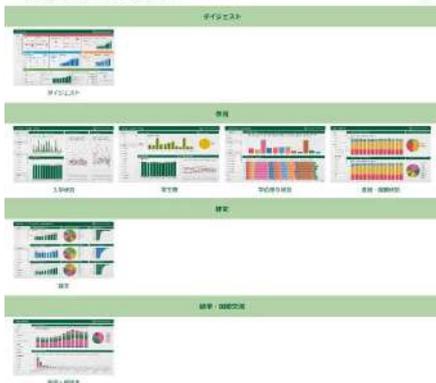
[広島大学統合報告書](#)

### 広島大学ファクトブック



BI(ビジネスインテリジェンス) ツールを活用し、本学の基本情報をわかりやすく可視化した「広島大学ファクトブック」を新たに公開しました。

データを見て、比べて、触って、本学のことをより“フカボリ”してみてください。



[広島大学ファクトブック](#)



高校生・受験生の方

広大へ留学希望の方

一般・地域の方

企業・研究者の方

卒業生の方

保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活  
・就職

研究

社会・産学連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等



🏠 Home > 大学案内 > 統合報告書・ファクトブック > 広島大学統合報告書

理念・ビジョン

広島大学長

アイデンティティ

中期目標・中期計画・年度  
計画・実績報告書

大学概要

統合報告書・ファクトブ  
ック

> 広島大学統合報告書

主要会議

受章・表彰

本学の取り組み

自己点検・評価

公表情報

情報公開制度・公文書管  
理・個人情報保護

法令順守への取り組み

入札情報等

ネーミングライツ

兼業依頼

出張依頼

共催・後援等名義使用申請

校友会・同窓会

キャンパス見学のお問い  
合わせ・申し込み先

キャンパスぶらり散歩

オンラインキャンパスツ  
アー

キャンパスカメラ & 気象情  
報

ここがええね！広大

## 広島大学統合報告書

統合報告書は、ステークホルダーのみなさまに、本学の活動をわかりやすく、ご理解いただけるよう作成した報告書です。本学の目指す未来と現在地について共有し、双方向の対話へとつなげることで、みなさまと共に歩みを進めていくことを目的としています。

作成にあたっては、本学の特色や強み・ビジョン・取り組みなどの非財務情報と財務情報を有機的に組み合わせ、本学が社会に提供する価値の全体像をより身近に感じていただけるよう心掛けました。本統合報告書が、本学を支えてくださるみなさまと本学をより深くつなげる存在となれば幸いです。



### 広島大学統合報告書2022 目次

- 03 広島大学のあゆみ
- 05 学長メッセージ
- 07 価値創造プロセス

#### 特集 未来をつくる広島大学－国際化に向けた挑戦・地域との共創－

- 11 時空の制約を超えたグローバルキャンパスの形成
- 13 Town & Gown 構想  
－持続的な地域の発展と大学の進化を共に目指す－
- 15 「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0宣言」  
の実現に向けて
- 17 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 19 75+75周年に向けて 3キャンパスの拠点整備

#### ステークホルダーのみなさまへ

- 21 受験生、在学生、保護者のみなさまへ
- 25 企業、研究者のみなさまへ
- 27 一般、地域のみなさまへ
- 29 病院利用、医療関係者のみなさまへ
- 31 卒業生のみなさまへ－広島大学校友会－
- 32 ご支援をお考えのみなさまへ－広島大学基金－

#### 運営・財務情報

- 33 広島大学の運営情報
- 35 広島大学の財務情報  
国立大学法人の会計制度  
決算情報  
財務指標

- 41 データで見る広島大学
- 42 広島大学をもっと知りたい！

デジタルブックを開く

【Webアンケート】ご協力をお願いいたします。

令和 4 年 11 月 18 日

## 2022 年度は多くの大型競争的資金を獲得しました

本学は、研究・教育・社会貢献・経営基盤等の機能強化につなげるため、積極的かつ戦略的に大型競争的資金に申請し、今年度は、多くの資金を獲得いたしました。

主なものは、次のとおりです。

- ・ 文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）70 億円  
「持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点」（中四国で初）
- ・ 文部科学省の共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT） 32 億円  
「広島から世界最先端のバイオエコノミー社会を実現する  
Bio×Digital Transformation（バイオ DX）産学共創拠点」  
（共創分野の本格型としては、中四国九州で初）
- ・ 文部科学省の国立大学経営改革促進事業 18 億円  
「Town & Gown 構想の多層展開によるアカデミック・エンタープライズの本格稼働」
- ・ 文部科学省のスタートアップ・エコシステム形成支援 6 億円  
「Peace & Science Innovation Ecosystem（PSI）」
- ・ 内閣府の地域中核大学イノベーション創出環境強化事業 4 億円  
「社会実装を見据えたオープンイノベーション事業本部の改組による経営基盤の強化」
- ・ 経済産業省のワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業 30 億円  
「広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備」（国立大学法人唯一）
- ・ 経済産業省の地域の中核大学の融合拠点の整備 10 億円  
「広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所」  
（革新的半導体の研究開発）

これらの資金を活用して、新しい平和科学の理念である「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界トップクラスの教育研究拠点を構築し、地域社会と国際社会を繋ぐ知的拠点として、多様性を育む自由で平和な国際社会の実現に貢献する「平和を希求しチャレンジする国際的教養人」を育成していきます。

### 【お問い合わせ先】

総合戦略室総合戦略グループ 久保田  
TEL:082-424-5686 FAX:082-424-6007

2022年度

# 大型競争的資金獲得状況



広島大学

2022年11月18日

# 世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)

大学等への集中的な支援を通じてシステム改革等の自主的な取組を促すことで、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準を誇る”国際頭脳循環のハブ”となる研究拠点の充実・強化を着実に進める

申請：16件 採択：3件

支援規模：最大7億円/年×10年 本学採択額：70億円

## 採択

番号	ホスト機関名	拠点構想の名称
1	大阪大学	ヒューマン・メタバース疾患研究拠点
<b>2</b>	<b>広島大学</b>	<b>持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点</b>
3	慶應義塾大学	ヒト生物学-微生物叢-量子計算研究センター

## 申請

整理番号	ホスト機関名	拠点構想の名称
1	東北大学	地球-人間システム科学高等研究機構
2	筑波大学	超微生物社会科学研究機構
3	東京大学	超自然生体分子工学拠点
4	東京医科歯科大学	心と身体と社会のコンバージェンス研究拠点
5	東京工業大学	生体的システム材料学研究拠点
6	新潟大学	ヒト脳組織に学ぶ、ヒトらしさの脳科学拠点
7	金沢大学	サピエンス生命進化研究所
8	東海国立大学機構名古屋大学	時空間マルチスケール医科学機構
9	神戸大学	光散乱透視科学研究拠点
10	九州大学	量子分子エレクトロニクス国際研究所
11	熊本大学	器官成熟学研究センター
12	理化学研究所	社会認知工学統合研究拠点
13	量子科学技術研究開発機構	マルチフォトエテロロジーセンター



拠点長  
イワン・スマリユク

右手と左手、右旋回と左旋回の関係のように鏡像が互いに重ならない物質と運動の状態をキラルという。スマリユクは、一方のキラル分子が集積すると、結び目構造(キラルノット)が形成されることと、キラルノットは、自発的に凝集して、特異な物性を示す「超物質」になることを発見した。本拠点では、素粒子から宇宙のような広大な時間空間スケールにおいて、キラルな物質が生み出す新たな構造・特性を見出し、その原理を解明して、キラルノット超物質創成学を確立する。

## ■ 目標

本拠点では、分子や原子などの自然界を構成する要素の人工類似体を開発し、自然界をより深く理解することを目指す。また、自然界には存在しない材料特性を持つ、新しいタイプの人工材料を自在に創成して、地球規模の問題を解決し、持続可能な未来を実現するための技術革新の基盤を構築する。

このような研究を進めながら、日本や世界の研究活動を基盤とする大学院教育改革の先行事例を作り、若い才能をグローバルにつなげ、自然科学と社会科学をリンクさせて、持続可能性の一層の向上を図る。

## ■ 特徴：世界で唯一のキラルノット研究の拠点

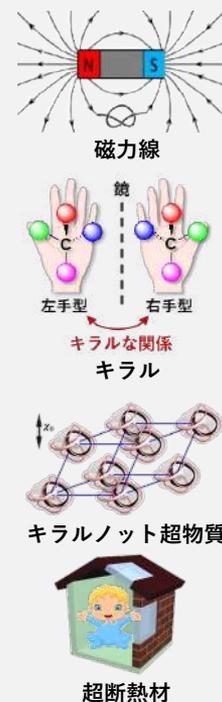
- 構成要素としてノットの構造を設計・開発し、「キラルノット超物質」という新しいパラダイムを導入する
- 人工的に設計可能なノット(粒子)から材料を創り出し、自然の限界を克服する非常に優れた特性を示すノットキラル超物質を創出する
- 数学的結び目理論とキラリティに関する知識分野を超えて交換する



## ■ 研究内容

糸で結び目を作るように、物理的な力線(磁石が作る磁力線など)にも結び目(ノット)を作ることができる。このノットは人工原子のように粒子として振る舞う。右手と左手の関係のように鏡像が互いに重ならない物体の性質をキラルという。このキラルの性質を利用すると、磁石や液晶などの材料中にノットを自在に作り出せる。私たちは、このような物理的な力線のノットを構成要素とする「キラルノット超物質」の研究パラダイムを確立する。

液晶のような実験可能な系で自然現象を再現することにより、素粒子から宇宙全体までのスケールで、自然界の基本法則を探る。そのために、純粋・応用数学の知識と物理学、惑星科学、宇宙論、生物学、物質科学、工学の知識を統合する。水引のように物理的な力線ノットと分子を編み込むことで、自然の謎を解き明かし、自然の限界を超えた新しい物性や必要とされる特性を実現する。本拠点では、キラルノット結晶や自然物質の人工模擬物質を創り、新物質を創成する。例えば、地球上の全エネルギー消費量の40%を占めるビルの冷暖房に無駄なエネルギーを節約するために必要な超断熱を可能にする。私たちの材料を用いてこのエネルギーを節約すれば、世界のエネルギー需要を減らし、気候変動を緩和することになる。



## ■ 連携先

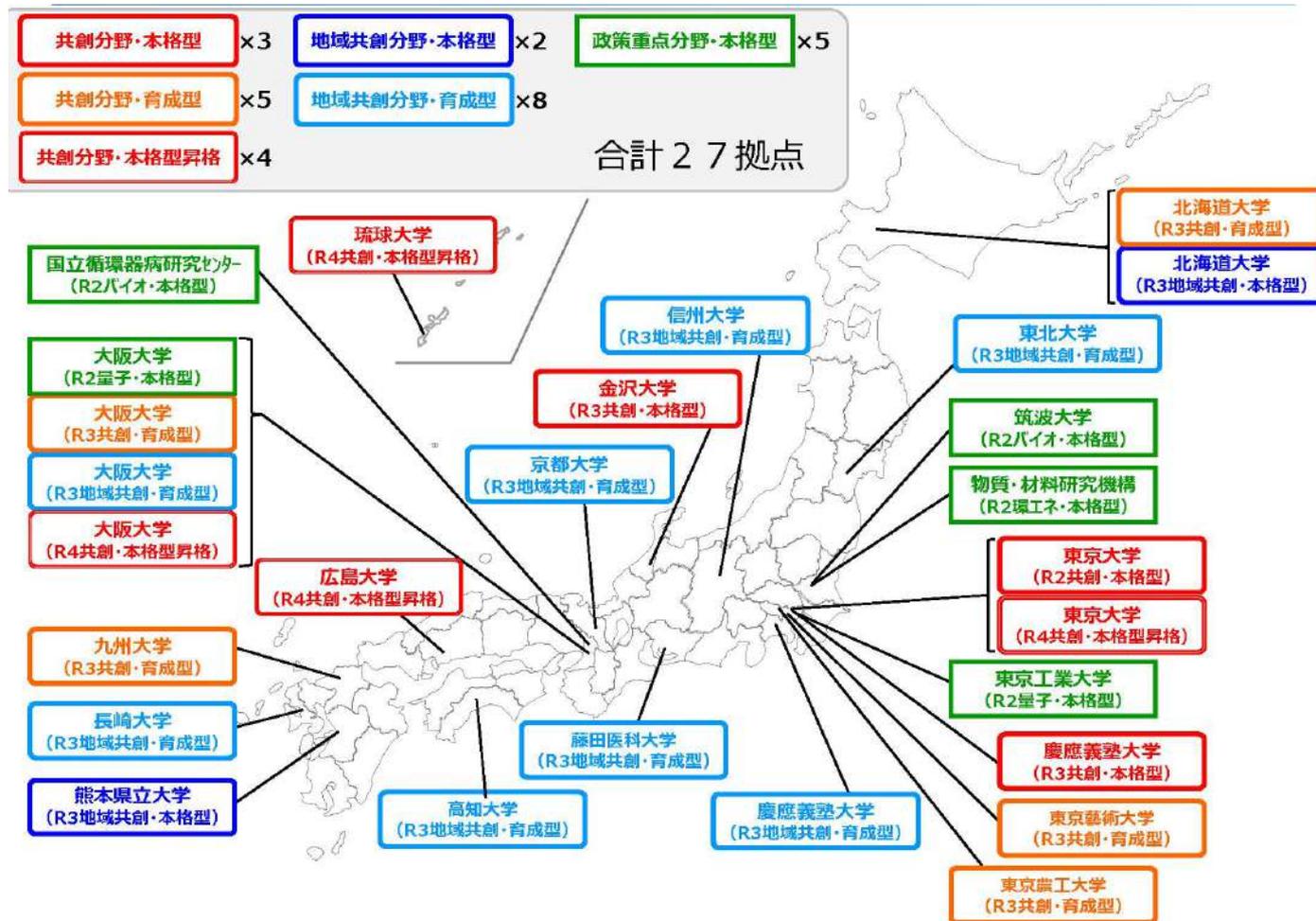
米国(マサチューセッツ工科大学、コロラド大学ボルダー校、ジョージア工科大学)、オランダ(ユトレヒト大学)、英国(ケンブリッジ大学)、ドイツ(マックスプランク研究所)、ポーランド(ヴロツワフ大学)、台湾(中央研究院)、日本(理化学研究所、東京大学、東京工業大学)等

# 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)

地域大学等を中心とし、地方自治体、企業等とのパートナーシップによる、地域の社会課題解決や地域経済の発展を目的とした、自立的・持続的な地域産学官共創拠点の形成（共創分野・本格型）

R2：共創分野・育成型 申請:67件，採択:12件

R3：昇格審査 採択：4件 最大3.2億円/年度を最長10年間 本学採択額：32億円



# 広島から世界最先端のバイオエコノミー社会を実現する Bio×Digital Transformation (バイオDX) 産学共創拠点



バイオ産業は2030年までに  
約180兆円の巨大市場へ成長

<社会動向等>

■ビジョン

<拠点外の活動>

- SDGs/パリ協定
- 脱炭素・カーボン0
- 新型コロナウイルス対策
- 持続可能な食料生産

**Bio-Digital Transformation (バイオDX) で  
持続可能な発展を導くバイオエコノミー社会を実現**

- SDGs未来都市
- スタートアップ・エコシステム推進拠点都市
- 地域バイオコミュニティ

■ターゲット

1.食料問題を解決する  
フード&アグリテック

2.バイオDXによる  
健康福祉の増進

3.カーボンゼロを推進する  
バイオものづくり



# 国立大学経営改革促進事業

学長がリーダーシップを発揮するなどにより、法人化のメリットを最大限に活かした国立大学の経営改革を実現・加速し、各大学のミッションを踏まえた強み・特色ある教育研究活動を通じて、社会的インパクトの創出に先導的に取り組む大学に対して支援を行う

令和4年度 申請：21件 採択：10件 本学採択額：18億円 / 4年間

## 1. “地域”や“特定分野中核”として強み・特色ある教育研究活動に取り組む国立大学法人（5件）

No.	法人名	構 想 名
1	新潟大学	産学連携と地域協働をエンジンとした経営力強化スパイラルシステムの構築と推進 ～未来のライフ・イノベーションのフロントランナーになるために～
2	長岡技術科学大学 豊橋技術科学大学	メタバースの活用と技科大リソースマネジメントによる研究教育システムの価値向上と財政基盤の拡大
3	金沢大学 富山大学 福井大学 北陸先端科学技術大学	「北陸未来共創フォーラム」を核とした北陸地域におけるイノベーション・エコシステムのスケールアップ～新たな知と人材による価値創造と新たな資本・資源の還流の好循環による大学の強固な財政基盤の確立～
4	山梨大学	URAによる大学院教育と研究推進を融合させた「若手人材育成プラットフォーム」の構築
5	岡山大学	価値創造ナレッジマネジメントオフィス（アジャイル型）を活用した大学経営改革とイノベーションエコシステムの構築

## 2. “トップレベルの教育研究”の展開を目指す国立大学法人（5件）

No.	法人名	構 想 名
1	千葉大学	大学のデジタル変革による戦略的分析経営の強化ー世界に冠たる研究が牽引するビジョン・オリエンテッドな大学改革ー
2	東京農工大学	東京農工大学「個性ある先端研究大学」創出のための経営自律化構想
3	金沢大学	“卓越研究領域の増幅”を核とした「未来知による社会変革」と「知・人・資本の好循環」による経営改革金沢モデルの展開
4	神戸大学	社会変革を先導する「異分野共創研究教育グローバル拠点」の形成に向けた経営改革
5	<b>広島大学</b>	<b>Town &amp; Gown 構想の多層展開によるアカデミック・エンタープライズの本格稼働 ～大学が先導する地方創生モデルの確立と海外共創の場形成を基盤とする持続可能な発展を導く科学の実践～</b>

# Town & Gown構想の多層展開によるアカデミック・エンタープライズの本格稼働 ～大学が先導する地方創生モデルの確立と海外共創の場形成を基盤とする持続可能な発展を導く科学の実践～

※アカデミック・エンタープライズ：地域課題や社会課題の解決に即応する教育、研究、社会貢献へと転換することで新たな大学経営資源を獲得し、さらに高度な課題解決に貢献する好循環を生み出す大学経営モデル

## ■ 構想概要

- 大学と地方都市が共に発展を目指す「**Town & Gown構想**」の更なる推進により、**まちづくりと研究力強化の好循環を創出する世界レベルの研究拠点を核としたイノベーション・エコシステム**を完成させる。「**デジタル田園都市国家構想の実現モデル**」の一つとして確立させ、**全国へ展開**する。
- 海外における共創の場形成**により、Town&Gown構想の取組や成果を**海外へ展開**。戦略的外部資金を継続的に獲得できる基盤を形成し、新たな経営資源により**ポストSDGsを主導する新時代の平和研究拠点を構築**する。

➡ **アカデミック・エンタープライズ**を本格稼働させ、世界トップクラスの教育研究拠点として国際的プレゼンスを高め、**本学の理念の具現化**を図る。

## 「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界トップクラスの教育研究拠点の構築

これまでの経営改革の成果を基盤としたアカデミック・エンタープライズの本格稼働

### ■ 取組① Town & Gown構想の推進 – 大学と地方都市が共に発展するデジタル田園都市国家構想の実現モデルの確立 –

- スマート学園都市の形成と研究力強化の好循環を創出するイノベーション・エコシステムの完成
- Town & Gown構想の広島県内への展開
- Town & Gown構想の更なる拡大に向けた経営基盤の強化

### ■ 取組③ 大学と地方都市が共に発展するモデルの国内展開

- 本学が東広島市と確立したTown & Gown構想を、全国Town & Gown構想推進協議会（仮称）により国内展開
- 「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」参画機関とも連携し、特に中四国地方におけるイノベーション・エコシステムを構築

### ■ 取組② 海外における共創の場形成モデルの展開

- インドネシアの同窓生ネットワーク組織（チャプター）と連携した海外共創プラットフォームの構築
- ベトナムへの海外共創の場形成モデルの展開
- その他の国・地域の特性を踏まえた新たな海外共創の場形成モデルの展開

### ■ 取組④ ポストSDGsを主導する新時代の平和研究拠点の構築

- 平和と持続可能性を同時に達成するトランスディシプリナリー研究領域を推進する広島大学FE・SDGsネットワーク拠点NERPS※の強化・拡大により、世界の人間の安全保障の確立に寄与する
- ポストSDGsを主導する世界的なPeace and Sustainability拠点として設置したIDEC国際連携機構を中心とした国際貢献に資する実践研究と人材養成

※Network for Education and Research on Peace and Sustainability

## ■ 第3期中期目標期間までに実現した経営改革の成果・実績

### 【産学官連携の推進】

- オープンイノベーション事業本部を中心とした大型共同研究の推進
- Town & Gown Office設置、産学官一体で運営
- 広島大学スマートシティ共創コンソーシアム、ひろしま好きじゃけんコンソーシアム設置

### 【財源の多様化による財務基盤の強化】

- 広島大学が躍動し、広島の地を活性化させる基金の創設
- 企業版ふるさと納税制度を活用した実証研究基盤構築スキームの確立

### 【人事給与とマネジメント改革・ガバナンスの強化】

- 全学教員組織を一元化した「学術院」の設置
- 「全学人事委員会」の下、教員人事の全学一元管理
- 若手育成助教制度
- 新デュアルトラック制度
- IR本部を中心とした大学経営におけるEBPMの推進
- 新たな教員個人評価制度の導入

### 【グローバル戦略の展開】

- オンライン型海外派遣「e-STARTプログラム」新設
- アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院-広島大学グローバル校の設置
- 広島大学森戸高等教育学院北京校の設置
- 宿泊機能を有する国際交流拠点施設「広島大学フェニックス国際センター ミライクリエ」竣工

\* 赤字箇所：令和2-3年度国立大学経営改革促進事業における取組の成果



共同研究収入  
【R3】15.8億円（H27比：+9.5億円）



専任教員数における若手教員の割合  
【R3】26.4%（H28比：+7.7%）



論文の国際共著率  
【R3】35.6%（H27比：+7.8%）

# スタートアップ・エコシステム形成支援

本プログラムでは、コロナ後の社会においてイノベーションの創出を牽引する起業家精神（アントレプレナーシップ）を有する人材が中心となり、社会課題の解決につながるインパクトの大きいスタートアップを継続的に創出し、スタートアップによって生み出された価値が更なるイノベーション創出の礎となる循環の実現に向けた取組を推進することを目的とします。具体的には、都道府県域に留まらない拠点都市単位において、大学、企業、自治体、金融機関、支援機関等の連携により、起業家精神（アントレプレナーシップ）の醸成から起業家の育成、並びに技術シーズの発掘から実用性・事業性の検証、GAPファンドによる資金支援、起業前後の立ち上げ支援、起業後のインキュベーションまでを一貫して実施できる体制を構築することで、競争力のある大学等発ベンチャーが次々と創出される、大学を中心としたエコシステムの形成を加速することを目指します。

令和4年度 申請: 4件 採択: 4件 本学採択額: 6億円

主幹機関	プラットフォーム名
九州大学、九州工業大学	Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup – ecosystem (PARKS)
東北大学	みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (Michinoku Academia Startup Platform : MASP)
<b>広島大学</b>	<b>Peace &amp; Science Innovation Ecosystem (PSI)</b>
北海道大学	北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク (Hokkaido Startup Future Creation development by mutual support networks / HSFC "叡智の力、エイチフォース")

令和3年度採択

主幹機関	プラットフォーム名
京都大学	京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション
東京大学、早稲田大学、東京工業大学	Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)
名古屋大学	Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)

# Peace & Science Innovation Ecosystem

令和8年度末までに目指す姿(全体)



【現状】一部の中四国の大学のみでプログラムも分断されている

【中期】共同機関が同じプラットフォームを活用して運営している

【後期】プラットフォーム参加の機関を増やして、国際展開も進んでいる

参加大学 (7大学)

国際連携は始まったが、具体的な連携が少ない

他の中四国大学の参画

全ての中四国地域の大学が参加

他の中四国大学の参画

国際展開が促進している

- ✓ 地域産業及び地域実証フィールドを活かした「広島型・エコシステムモデル」を確立。
- ✓ 確立したエコシステムモデルを中四国地域のすべての大学及び自治体に展開。

# 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業

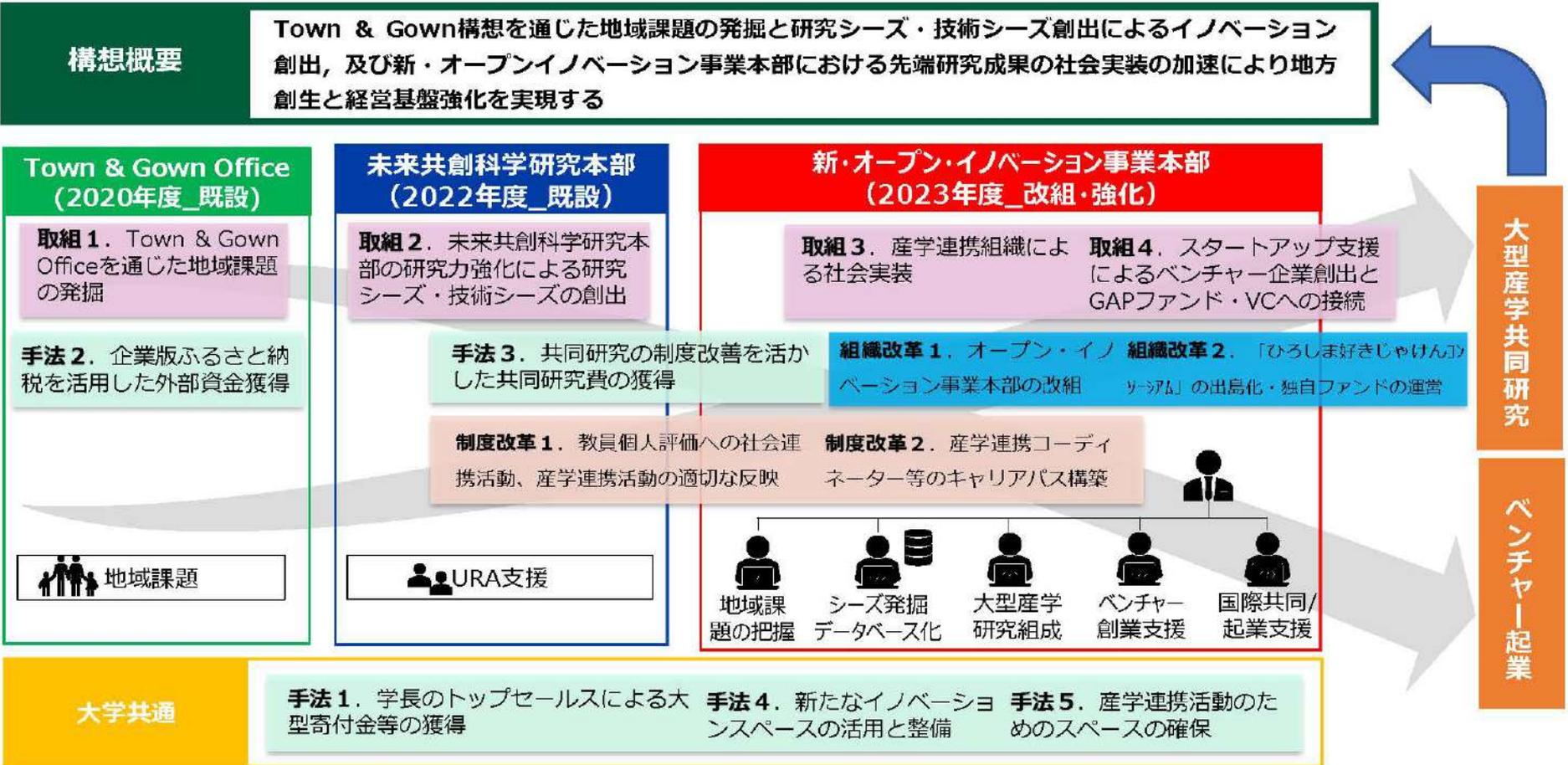
地域の中核となる大学が、独自のミッション・ビジョンに基づく強みや特色を最大限発揮し、地域ニーズに即した社会貢献活動を推進するとともに、同活動を通じた地域行政や産業界からの投資誘発を通じて、大学の財源多様化を進める。

申請：49大学 採択：11大学 配分総額：16億円 本学採択額：4億円

法人名	大学名	令和4年度配分額
国立大学法人豊橋技術科学大学	豊橋技術科学大学	1億円
国立大学法人東京農工大学	東京農工大学	1億円
国立大学法人東海国立大学機構	岐阜大学	1億円
国立大学法人信州大学	信州大学	1億円
国立大学法人徳島大学	徳島大学	2億円
国立大学法人北海道大学	北海道大学	3億円
<b>国立大学法人広島大学</b>	<b>広島大学</b>	<b>2億円</b>
国立大学法人神戸大学	神戸大学	1億円
国立大学法人弘前大学	弘前大学	1.5億円
国立大学法人富山大学	富山大学	1.5億円
国立大学法人島根大学	島根大学	1億円

# 社会実装を見据えたオープンイノベーション事業本部の改組による経営基盤の強化

～Town & Gown構想を通じた地域課題の発掘と未来共創科学研究本部による研究シーズ・技術シーズ創出をつなぐ地方創生の実現～



# ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業

今後脅威となりうる感染症への備えとして、平時は企業のニーズに応じたバイオ医薬品を製造し、感染症パンデミック発生時にはワクチン製造へ切り替えられるデュアルユース設備を有する拠点を整備するとともに、ワクチン製造に不可欠な製剤化・充填設備や、医薬品製造に必要な部素材等の製造設備を有する拠点等の整備しようとする場合に、その設備導入等を支援。

申請:41件 採択:17件 本学採択額:30億円

## ワクチン製造拠点の整備事業

No.	補助事業者名	有事に製造するワクチン
1	株式会社 ARCALIS Meiji Seika ファルマ株式会社	mRNA
2	AGC株式会社	mRNA、ウイルスベクター、組換えタンパク、遺伝子改変細胞
3	KMバイオロジクス株式会社	ウイルスベクター、組換えタンパク、不活化、弱毒生
4	JCRファーマ株式会社	ウイルスベクター、組換えタンパク、不活化
5	第一三共株式会社 第一三共バイオテック株式会社	mRNA
6	タカラバイオ株式会社	mRNA、ウイルスベクター
7	富士フイルム富山化学株式会社	mRNA、組換えタンパク

## 治験薬製造拠点の整備事業

No.	補助事業者名	有事に製造する治験用ワクチン
1	エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社	mRNA
2	一般財団法人阪大微生物病研究会	ウイルスベクター、組換えタンパク、不活化、弱毒生、核酸
3	<b>国立大学法人広島大学</b>	<b>mRNA、DNA、ペプチド</b>
4	VLP Therapeutics Japan 合同会社	ウイルスベクター、組換えタンパク、VLP、自己増殖 RNA、DNA

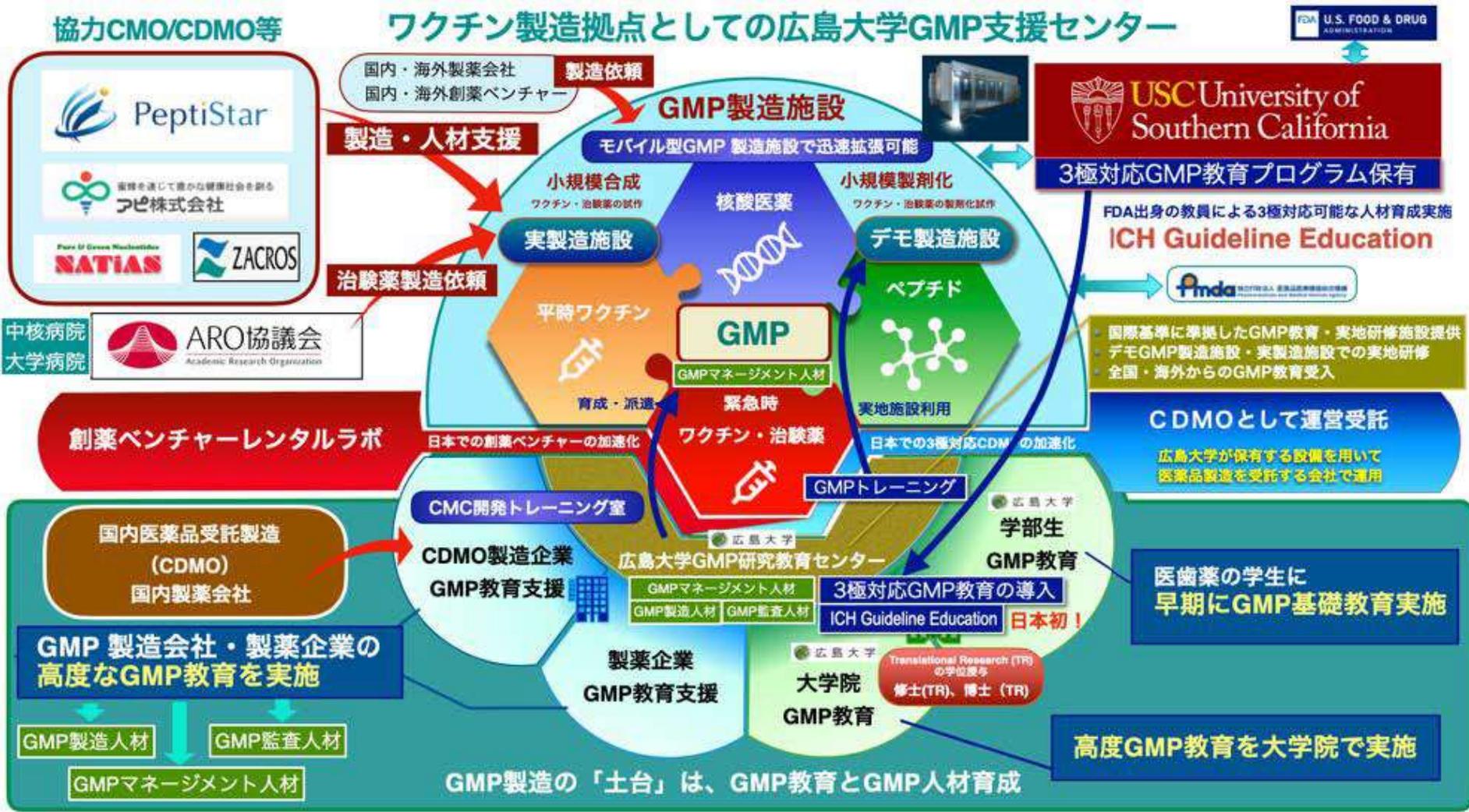
## 製剤化・充填拠点の整備事業

No.	補助事業者名	有事に製剤化・充填するワクチン
1	ニプロファーマ株式会社	mRNA、DNA、ウイルスベクター、組換えタンパク、新規モダリティ

## 部素材等の製造拠点の整備事業

No.	補助事業者名	有事に増産する部素材等
1	タカラバイオ株式会社	mRNA製造用酵素
2	藤倉コンポジット株式会社	無菌接続コネクタ、送液用シリコンチューブ、ガスケット
3	藤森工業株式会社	シングルユースバッグ及びチューブアセンブリ
4	ヤマサ醤油株式会社	mRNA用の核酸原料
5	株式会社ロキテクノ	医薬用ろ過滅菌フィルター

# 広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備



# 地域の中核大学の産学融合拠点の整備

経済産業省では、地域の中核大学等が強みや特色を有する研究分野において、企業やベンチャー、自治体等との連携を強化することによって、イノベーション創出や地域経済活性化を促進することを目指す。

本事業では、下記の通り3タイプの整備を支援。

- ① 企業との共同実験施設・設備等 整備事業
- ② インキュベーション施設等 整備事業
- ③ オープンイノベーション推進施設等 整備事業

申請：32件 採択：8件 本学採択額：10億円

機関名	拠点名	テーマ分類
大阪大学	アルファ線核医学治療社会実装拠点	①
熊本大学	半導体研究教育センター 半導体研究実験拠点	①
東海国立大学機構	Tokai Open Innovation Complex	①②③
東北大学	青葉山ユニバース（仮称）	①②③
徳島大学	徳島大学バイオイノベーション研究所ヴォルテックス棟（仮称）	①
富山大学	富山型資源循環モデル創出を目指した産官学金連携アルミリサイクル共創拠点 先進軽金属材料国際研究機構共同研究棟	①③
<b>広島大学</b>	<b>広島大学ナノデバイス研究所</b>	<b>③</b>
北陸先端科学技術大学院大学	超越バイオメディカルDX研究拠点	①③

# 広島大学ナノデバイス研究所 J-Innovation HUB棟 (Jイノベ棟)

## 幹の太いイノベーション拠点形成と その果実であるイノベーションの創出

フロンティア開拓と新しいモノの融合・統合による新しい価値創造

極限環境エレクトロニクス (XEE)  
～高温・耐放射線の極限へ

AI/IoT  
～マシン認知の極限へ

原子層ナノプロセッシング (ALNP)  
～ナノデバイスの極限へ

Beyond 6G(B6G)  
～無線データ通信の極限へ

新しい  
ジェネラル・パーパス・  
テクノロジー

企業

広島大学

自治体

企業、ひいては社会

社会実装・  
新市場形成

せとうち半導体共創コンソーシアム

広島大学ナノデバイス研究所・北側



Jイノプラ事業による

「地域の中核大学の産学融合拠点の整備」

# 国内トップレベル拠点プロジェクト採択状況まとめ（他大学ベンチマーク）

掲載対象：今年度採択された主な国内トップレベル拠点プロジェクト  
 ベンチマーク大学：「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に係るグループ。海外大学と伍して全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする16大学。（緑：指定国立大学、橙：指定国立大学以外）

## ○文部科学省

令和4年度採択事業					他大学との比較（平成19年度～令和4年度）																備考				
No	事業名称	概要	プロジェクトリーダー	事業期間	予算総額(億円)	広島	東北	筑波	東京	曲医科科	東工	一橋	名古屋	京都	大阪	九州	北海道	千葉	農工大	金沢		神戸	岡山		
1	世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）	世界トップレベルの研究水準を誇る国際脳神経科学のハブとなる <b>超大型研究拠点</b>	Ivan I. Smalyukh 教授	R4-R13	70億	1件 (R4)	1件 (H19)	1件 (H24)	2件 (H19,29)	-	1件 (H24)	-	1件 (H24)	2件 (H19,30)	2件 (H19,R4)	1件 (H22)	1件 (H30)	-	-	1件 (H29)	-	-	-	-	対象：平成19年度～令和4年度採択分まで（左記以外に、慶応、高工ネ研、物質・材料研究機構）
2	共創の場（COI-NEXT）	未来の社会像からバックキャストした研究を支援する <b>超大型イノベーション拠点</b>	山本 卓 教授	R4-R13	32億	1件 (R4)	-	1件 (R2)	2件 (R2,4)	-	1件 (R2)	-	-	-	2件 (R2,4)	-	1件 (R3)	-	-	1件 (R3)	-	-	-	-	対象：令和2年度～令和4年度採択分まで（本格型のみ計上（合計14拠点）（左記以外に、慶応、琉球、熊本県立、国立循環器病研究センター）
3	国立大学経営改革促進事業	トップレベルの教育研究を目指す大学の改革を支援する <b>大型経営改革推進拠点</b>	金子 慎二 理事	R4-R7	18億	2件 (R2,R4)	1件 (H30)	1件 (H30)	1件 (H30)	1件 (R2)	1件 (H31)	-	2件 (H30)	1件 (H30)	1件 (H31)	1件 (H30)	1件 (H31)	2件 (R2,R4)	1件 (R4)	2件 (R2,R4)	2件 (R2,R4)	2件 (R3,R4)	-	対象：平成30年度～令和4年度採択分まで	
4	スタートアップ・エコシステム形成支援	起業支援及びアントレプレナーシップを広域にわたって支援する <b>広域イノベーション拠点</b>	田原 栄俊 教授	R4-R8	6億	1件 (R4)	1件 (R4)	-	1件 (R3)	-	1件 (R3)	-	1件 (R3)	1件 (R3)	-	1件 (R4)	1件 (R4)	-	-	-	-	-	-	対象：令和3年度～令和4年度採択分まで（範囲：主幹機関のみ計上）	

## ○内閣府

令和4年度採択事業					他大学との比較（平成31年度～令和4年度）																備考			
No	事業名称	概要	プロジェクトリーダー	事業期間	予算総額(億円)	広島	東北	筑波	東京	曲医科科	東工	一橋	名古屋	京都	大阪	九州	北海道	千葉	農工大	金沢		神戸	岡山	
5	ムーンショット型研究開発事業	従来技術の延長にない挑戦的な研究開発を推進する <b>超大型学術拠点</b>	山崎 成人 教授	R4-R13	32億	1件	9件	2件	1.7件	-	-	-	3件	5件	6件	2件	2件	1件	1件	2件	1件	-	-	対象：令和4年10月時点の任命者数（平成31年度～令和4年度任命分まで） 範囲：研究開発プロジェクト（9つの目標）におけるPD、PMの人数
6	地域中核大学イノベーション創出環境強化事業	地域の雇用経済を生み出す中核となる大学を支援する <b>地域大学支援拠点</b>	安谷 学 理事	R4-R5	4億	1件 (R4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1件 (R4)	-	1件 (R4)	-	1件 (R4)	-	-	対象：令和4年度採択分（新規） 留意点：国際卓越研究大学への申請を想定する大学からの申請はなし

## ○経済産業省

令和4年度採択事業					他大学との比較（令和4年度のみ）																備考			
No	事業名称	概要	プロジェクトリーダー	事業期間	予算総額(億円)	広島	東北	筑波	東京	曲医科科	東工	一橋	名古屋	京都	大阪	九州	北海道	千葉	農工大	金沢		神戸	岡山	
7	地域の中核大学の産学融合拠点の整備	革新的半導体集積回路の創生を目的とした <b>大型アカデミア/人材育成拠点</b>	寺本 暁伸 教授	R4	10億	1件 (R4)	1件 (R4)	-	-	-	-	-	1件 (R4)	-	1件 (R4)	-	-	-	-	-	-	-	-	対象：令和4年度採択分（R3補正からの繰越実施）
8	ワクチン生産体制強化バイオ医薬品製造拠点	平時はバイオ医薬品を製造し、有事はワクチン製造を行う <b>超大型ワクチン製造拠点</b>	田原 栄俊 教授	R4-R8	30億	1件 (R4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対象：令和4年度採択分（新規） 留意点：製薬会社等が申請主体の採択案件が多数。

# Q1ジャーナル論文数ランキング（臨床医学領域） 国内10位

m3.com Doctors LIFESTYLE編集部が発表した、2021年に「Q1ジャーナル」※に掲載された臨床医学論文の総数を大学別に集計したランキングにおいて、医学部がある国内82大学中10位、中国・四国地区で1位にランクインした。

論文数は、クラリベイト社がまとめている臨床医学領域の論文データベース（2021年発表）をもとに、Doctors LIFESTYLE編集部が独自に集計した結果に拠るもの。

※Q1ジャーナル・・・ジャーナルインパクトファクター（2021年発行版）の上位25%以内に位置するジャーナルに収録されている論文

順位	大学名	Q1ジャーナル 論文数
1	東京大学	1,518
2	京都大学	1,430
3	大阪大学	1,174
4	慶應義塾大学	1,109
5	名古屋大学	921
6	九州大学	826
7	東北大学	824
8	北海道大学	792
9	順天堂大学	721
10	広島大学	700
11	東京医科歯科大学	667
12	横浜市立大学	617
13	千葉大学	561
14	神戸大学	531
15	岡山大学	515

順位	大学名	Q1ジャーナル 論文数
16	筑波大学	510
17	熊本大学	488
18	近畿大学	458
19	東京慈恵会医科大学	441
20	金沢大学	420
21	東京女子医科大学	410
22	自治医科大学	399
23	長崎大学	397
24	京都府立医科大学	391
25	埼玉医科大学	389
26	東京医科大学	385
27	新潟大学	361
28	日本医科大学	340
29	大阪市立大学	332
30	藤田医科大学	324
31	福島県立医科大学	321
32	名古屋市立大学	312
33	昭和大学	306
34	和歌山県立医科大学	295
35	北里大学	292
36	聖マリアンナ医科大学	290
37	兵庫医科大学	281
38	久留米大学	281
39	東海大学	279
40	杏林大学	275
41	群馬大学	271
42	東邦大学	259
43	日本大学	258
44	国際医療福祉大学	253
45	奈良県立医科大学	250
46	帝京大学	250
47	岐阜大学	249
48	浜松医科大学	246
49	三重大学	231

順位	大学名	Q1ジャーナル 論文数
50	関西医科大学	222
51	札幌医科大学	221
52	富山大学	219
53	獨協医科大学	213
54	鹿児島大学	213
55	信州大学	213
56	弘前大学	200
57	徳島大学	200
58	山口大学	189
59	滋賀医科大学	187
60	愛知医科大学	184
61	岩手医科大学	183
62	香川大学	172
63	川崎医科大学	171
64	防衛医科大学校	170
65	佐賀大学	169
66	産業医科大学	168
67	愛媛大学	167
68	福岡大学	162
69	大分大学	152
70	秋田大学	141
71	島根大学	140
72	大阪医科大学	136
73	山形大学	135
74	山梨大学	132
75	鳥取大学	127
76	琉球大学	126
77	福井大学	121
78	旭川医科大学	102
79	高知大学	99
80	金沢医科大学	98
81	宮崎大学	93
82	東北医科薬科大学	77

令和 4 年 11 月 18 日

**「2022 年ノーベル賞解説講演会」を開催します**

今年のノーベル物理学賞は、「量子もつれ」という特殊な状態を用いて「ベルの不等式」の破れを実験で示したアメリカのクラウザー博士とフランスのアスペ教授、「量子テレポーテーション」という現象を実験で示したオーストリアのツァイリッガー教授の 3 人に授与されます。量子に関する基礎物理学への貢献と量子情報科学という分野の開拓につながったことが評価されました。

また、ノーベル生理学・医学賞には、絶滅した人類の遺伝情報を解析する技術を確立し、人類の進化の過程に関する研究で大きな貢献をした、ドイツのスバンテ・ペーボ博士が選ばれました。

さらに、ノーベル化学賞では、さまざまな分子の結合を効率的に行う「クリックケミストリー」と呼ばれる手法を提唱したアメリカのシャープレス教授、クリックケミストリーの柱となる反応を開発したデンマークのメルダル教授、この手法を生きた細胞でも使えるようにしたアメリカのベルトツィ教授の 3 人に授与されます。この研究をもとに新しい治療薬の開発などが進められています。

これらを受けて当センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2022 年ノーベル物理学賞、ノーベル生理学・医学賞、ノーベル化学賞についての解説講演会を開催することといたしました。是非ご参加ください。

## 記

## 【2022 年ノーベル賞解説講演会】

- 日時：2022 年 12 月 11 日（日） 13:00～16:30（開場 12:30）
  - 場所：広島大学東千田キャンパス S207 講義室（広島市中区東千田町 1-1-89）  
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
  - 講演者・タイトル：
    - 13:00～ 飯沼 昌隆（広島大学先進理工系科学研究科・量子物質科学プログラム助教）  
「ベルの不等式の破れがもたらしたもの」
    - 14:00～ 井川 武（広島大学統合生命科学研究科・基礎生物学/生命医科学プログラム准教授）  
「私たちのゲノムに残る化石人類の痕跡」
    - 15:00～ 吉田 拡人（広島大学先進理工系科学研究科・化学プログラム教授）  
「クリックケミストリーと生体直交化学」
- 講演終了後 質問コーナー



- 参加費：無料
- お申し込み：右の QR コードよりお申し込みください。  
（QR コードの読み込みが難しい方は、下のメールアドレスにご連絡ください。）

※新型コロナウイルスの感染状況によりオンライン開催となる場合があります。

開催方法等に変更がある場合は、申し込み時のメールアドレスにお知らせします。

●主催：広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

【お問い合わせ先】

理学部附属未来創生科学人材育成センター  
E-mail : ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp  
Tel : 082-424-4384

2022年

# ノーベル賞 解説講演会



○参加費無料  
○要事前申込

どなたでも  
ご参加ください

※新型コロナウイルス感染症対策のため、  
QRコードより事前申込をお願いします。



QRコードの読み込みが  
難しい方は、下のメール  
アドレスにご連絡ください。

日時

場所

12月11日(日)

13:00-16:30 (開場12:30)

広島大学 東千田キャンパス

S207講義室

13:00- 物理学賞

ベルの不等式の破れがもたらしたもの

飯沼 昌隆

先進理工系科学研究科  
量子物質科学プログラム  
助教



14:00- 生理学・医学賞

私たちのゲノムに残る化石人類の痕跡

井川 武

統合生命科学研究科  
基礎生物学/生命医科学プログラム  
准教授



15:00- 化学賞

クリックケミストリーと生体直交化学

吉田 拓人

先進理工系科学研究科  
化学プログラム  
教授



講演終了後

質問コーナー

## ■ アクセス

バス: JR広島駅→南口バス乗り場 広島バス(50号東西線)アルパーク方面行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分  
電車: JR広島駅→市内電車乗り場 広電1番広島港行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分  
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

## ■ お問い合わせ

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

Email: ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-424-4384

令和 4 年 11 月 18 日

**第 4 回全日本学生フランス語プレゼンテーション大会で、  
文学部 4 年生の南谷真哉さんが、2 位に入賞しました**

11 月 12 日、京都外国語大学で開催された第 4 回全日本学生フランス語プレゼンテーション大会で、文学部 4 年の南谷真哉さんが、2 位に入賞しました。

南谷さんは「聴くことが持っている力」Le pouvoir de l'écoute の題目で、広島大学の公的相談機関「ピアサポートルーム」での悩みを抱えた学生の話を書くボランティア活動を通して、人に寄り添い話を聞くことの大切さを訴えました。

南谷さんには、副賞として、在日ベルギー大使館よりベルギーの特産品と書籍が、ベルギー王国フランス語共同体政府国際交流振興庁よりブリュッセル自由大学フランス語講座受講資格・滞在費と記念品が、京都外国語大学総長よりアマゾンギフト券が授与されました。



（京都外国語大学外国語学部フランス語学科長 中山智子教授（本学出身）より記念品の贈呈を受ける南谷さん）

※ 本大会の第 1 回（2019 年度）は優勝と第 3 位、第 3 回（2021 年度）には 3 位に、本学の学生が入賞しております（第 2 回はコロナウイルス感染拡大のため中止）。

**【お問い合わせ先】**

大学院人間社会科学研究科  
人文社会科学専攻 人文学プログラム  
宮川研究室  
TEL: 082-424-6692  
E-mail: akikomiy@hiroshima-u.ac.jp

令和 4 年 11 月 18 日

**未来博士 3 分間コンペティション 2022 を開催します**

未来博士 3 分間コンペティションは、博士課程後期学生が 3 分間の限られた時間内に自身の研究のビジョンと魅力を分かりやすく伝えるスピーチ大会です。大会を通して、自身のコミュニケーション力やアピール力の向上を図るとともに、社会における博士人材と博士研究に対する理解を広めることを目的としています。

本大会は、若手研究者の活躍や更なる成長を地域社会全体で応援するため「未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU)」事業の一環として、中国・四国地方を中心とする西日本の国公立大学、そして多くの企業や公的機関の協力を得て、2015 年以降、毎年開催してきました。第 8 回目となる本年度大会は、3 年ぶりにオンサイトで開催します。

○日時

2022 年 11 月 23 日(水・祝) 13:00~17:00 (予定)

○会場

広島大学サタケメモリアルホール (東広島キャンパス)

○プログラム

12:15 開場

13:00 オープニング

開会挨拶 越智 光夫 (広島大学長)

来賓挨拶 Alastair McEwan (豪州クイーンズランド大学副総長)

13:05 3 分間プレゼンテーション (日本語部門)

14:00 パネルトーク (日本語部門)

モデレーター: 本田 隆行 (フリーランス 科学コミュニケーター)

14:45 休憩

15:00 3 分間プレゼンテーション (英語部門)

15:55 パネルトーク (英語部門)

モデレーター: 今羽右左 デイヴィッド 甫 (京都大学 総務部 広報課 国際広報室 室長)

16:40 クロージング

表彰式

閉会挨拶 宮谷 真人 (広島大学 理事・副学長)

※プログラムは変更になる場合があります。

○申込方法

以下 URL よりご登録ください。申込締切: 2022 年 11 月 21 日(月)

( [https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdoPezt3xhd4bZm6D6jCihIVLKadHzmLrLB\\_UOM4Hdq8x9Kw/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdoPezt3xhd4bZm6D6jCihIVLKadHzmLrLB_UOM4Hdq8x9Kw/viewform) )

【お問い合わせ先】

未来博士 3 分間コンペティション 2022 事務局

E-mail: info@3mt.hiroshima-u.ac.jp

# 未踏の 領域へ。



*The important thing is  
not to stop questioning.*

—Albert Einstein

大切なのは、自問自答し続けることである。

—アルバート・アインシュタイン

博士課程の学生たちが、自身の研究のビジョンと魅力を3分間で分かりやすく語ります。彼らの研究があなたの好奇心をかきたてたら、あなたの1票を投じてください。

## オーディエンス大募集!

対象:どなたでも(中高生・大学生も大歓迎)

- ◎オーディエンス投票へ参加希望の場合、要事前申込
- ◎来場者特典あり(協賛企業提供)
- ◎ライブ配信あり

# 未来博士 3分間 コンペティション2022

2022年  
**11/23** 水・祝  
13:00~17:00  
広島大学サタケメモリアルホール  
(東広島キャンパス)

入場無料

プログラム(予定)

13:00	オープニング
13:05	3分間プレゼンテーション【日本語部門】
14:00	発表者を交えたパネルトーク【日本語部門】
14:45	休憩
15:00	3分間プレゼンテーション【英語部門】
15:55	発表者を交えたパネルトーク【英語部門】
16:40	クロージング
17:00	

お問い合わせ先 メール info@3mt.hiroshima-u.ac.jp TEL 080-2945-9233

大会公式サイト <https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/>



主催 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU)」(代表機関:広島大学)

共催 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業「広島大学大学院リサーチフェロシップ」  
次世代研究者挑戦的研究プログラム「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)「女性科学技術フェロシップ制度の創設による次世代の積極的育成」

特別  
協賛



協賛 株式会社アカリク/株式会社野村総合研究所/マナック株式会社 協力 シュプリングー・ネイチャー/国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

**HIRAKU**  
未来を拓く地方協奏プラットフォーム

In cooperation with Springer Nature

**3MT** THREE  
MINUTE  
THESIS  
FOUNDED BY THE UNIVERSITY OF QUEENSLAND

審査するのは、オーディエンスのあなたです。

# 未来博士 3分間 コンペティション2022

ライブ配信あり

## オーディエンス大募集!

対象:どなたでも(中学生・大学生も大歓迎)

とき●2022年11月23日(水・祝)  
13:00~17:00  
ところ●広島大学サタケメモリアルホール  
(東広島キャンパス)

入場  
無料

プログラム

13:00

### オープニング

- ◎開会挨拶:広島大学 学長 越智 光夫
- ◎来賓挨拶:豪州クイーンズランド大学副総長 Alastair McEWAN

13:05

### 博士課程学生による 3分間プレゼンテーション

日本語部門



2019年大会@くらは大ホール 最優秀賞受賞者

14:00

### 発表者を交えたパネルトーク | 日本語部門

[モデレーター]フリーランス科学コミュニケーター 本田 隆行

14:45

### 休憩

15:00

### 博士課程学生による 3分間プレゼンテーション

英語部門



2018年大会@くらは大ホール 最優秀賞受賞者

15:55

### 発表者を交えたパネルトーク | 英語部門

[モデレーター]京都大学 総務部 広報課 国際広報室 室長 今羽右左 デイヴィッド 甫

16:40

### クロージング

- ◎表彰式
- ◎閉会挨拶:広島大学 理事・副学長 宮谷 真人

17:00

※プログラムは、諸事情により変更になる場合がございます。最新情報については大会公式サイト (<https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/>) をご確認ください。



[総司会]バーゲル・ルミ  
(フリーアナウンサー/元TSSアナウンサー)

## 3分間 プレゼンテーション

博士課程学生が、3分間の限られた時間内に、たった1枚のスライドのみを使って自身の研究のビジョンと魅力を分かりやすく語ります。全国から動画審査を勝ち抜いたファイナリストたちの発表に心動かされたら、是非一票を投じてください。事前申請していただければ、大会中に投票していただくことができます。発表者情報、事前申請方法等は大会公式サイトをご参照ください。

## 発表者を交えたパネルトーク 「未来に向けて ~まぜて、こえて、つくりだそう~」

科学コミュニケーションに精通した専門家をモデレーターに迎え、各部門のファイナリストたちがJSTサイエンスアゴラ2022のテーマ「まぜて、こえて、つくりだそう」を軸に、未来に向けて社会とどう関わり、どう貢献できるか、議論を交わします。

## JST「サイエンスアゴラ2022」連携企画

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

## What's 3分間コンペティション?



オーストラリアのクイーンズランド大学で始まり、現在は少なくとも85か国900校以上の大学で実施されています。

<https://threeminutethesis.uq.edu.au/watch-3mt>



★最優秀賞  
○奨学金30万円、副賞

日本語部門 1名

英語部門 1名

★優秀賞  
○奨学金15万円、副賞

日本語部門 1名

英語部門 1名

★オーディエンス賞  
○奨学金8万円、副賞

日本語部門 1名

英語部門 1名

\*上記各賞以外に、投稿動画の中から複数名の方に、特別協賛企業が選ぶ動画賞を授与します。

大会公式サイト <https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/>



未来を拓く地方協奏プラットフォーム  
**HIRAKU**  
Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU)」は、広島大学、山口大学、徳島大学及び連携機関が一体となって、次世代を担う優秀な若手研究者が活躍の場を獲得していくための継続的な仕組みを作ることを目的に様々な取り組みを実施してきました。若手研究者が、人・社系・理工系のジャンルを超えて異なる領域にも果敢に挑戦することで、社会を変革する意識と情熱を持った人材となることをめざしています。また、中国・四国地方を中心とする西日本の国公立大学、そして多くの企業や公的機関を連携機関とした産学官コンソーシアムを形成し、協力して次代を担う優秀な若手研究者の活躍の場を創出します。